

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 基準日 定時株主総会 3月31日
剰余金の配当 期末3月31日
中間9月30日
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座 口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
(〒541-8502)
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
電話 0120-094-777(通話料無料)
- 公告方法 電子公告により行う
公告掲載URL <https://www.dnt.co.jp/>
ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
- 単元株式数 100株
- 上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部
(証券コード4611)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

投資家向けページのご案内



投資家情報

大日本塗料

<https://www.dnt.co.jp/>

当社webサイト内の投資家向けページでは、決算情報に加え、決算説明会資料や開示情報などをタイムリーに掲載しています。ぜひご覧ください。



代表取締役社長 里 隆幸

経営理念

当社は、新しい価値の創造を通じて
地球環境や資源を護り、広く社会の繁栄と
豊かな暮らしの実現に貢献できる
企業を目指します。

代表取締役社長の里 隆幸です。株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

Q 2019年度の業績をお聞かせください。

A 2019年度(当期)の事業環境は、主力の国内塗料事業において、建材分野を中心に需要が低調に推移し、海外塗料事業においても各拠点での自動車生産台数が低調に推移しました。照明機器事業では宿泊施設を中心に需要が好調に推移するなど好材料もありましたが、総じて厳しい状況が続いた一年となりました。

このような状況の中、当社グループは、中期経営計画(2017年度～2019年度)の最終年度として、お客様への付加価値の高い提案を積み重ね、国内塗料事業を増益基調に回帰させるよう努めてまいりました。また、今後の産業構造の変化を見据え、研究開発体制の強化や生産合理化への投資を進めるなど、成長基盤の整備にも取り組んでまいりました。

その結果、当期の連結業績は、売上高は、前期比1.4%減収の72,709百万円、営業利益は同491百万円減益の5,547百万円、経常利益は同423百万円減益の5,786百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は、同57百万円増益の3,662百万円となりました。

これにより、当期の期末配当金につきましては、前期と同額の1株当たり25円(配当性向19.4%)とさせていただきます。厳しい事業環境や内部留保の状況、業績に応じた配当を安定的に継続実施するなど総合的に判断させていただいた水準であり、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

Q 2020年度の業績の見通しについて教えてください。

A 今後の国内および世界経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行の影響により、厳しい状況が継続すると見込まれます。国内塗料事業では、建設工事の遅延や中断、工業用顧客の生産調整等が生じることにより、塗料需要の低下が予想され、海外塗料事業や照明機器事業においても需要環境の悪化が予想されます。

これにより、2020年度(今期)の連結業績予想および配当予想につきましては、当社グループへ与える業績影響を合理的に算定することが現時点では困難であることから、未定とさせていただきます。今後、業績予想の合理的な算定が可能となった段階で、速やかに公表させていただきます。

Q 今後の取り組みについて教えてください。

A 当社グループは、「持続的成長力を持つ企業」を目指しており、今期より「変革の断行」をテーマとする新中期経営計画(2020年度～2022年度)をスタートさせました。新中期経営計画では、これまで整備してきた成長基盤を活用し、「提供価値の強化」、「価格競争力の強化」、「労働生産性の向上」、「海外事業の強化」の4つの重点課題に取り組んでまいります。

中でも、「提供価値の強化」と「価格競争力の強化」は、コアビジネスである国内塗料事業の成長に資する取り組みです。当社は今夏、小牧事業所に「コーティング技術センター」、那須事業所に「防食技術センター」をそれぞれ開所いたします。両技術センターでは、顧客との共同開発や工場ラインテストの実施が可能で、今後、産業構造の変化に伴う素材の変化や老朽化した社会インフラのメンテナンス需要が見込まれることから、両技術センターを活用して、顧客ニーズに対応した製品・技術開発や総合サービス力の強化を図り、顧客への提供価値を高めてまいります。

また、原材料や製品の統廃合、生産工程の効率化により、原材料費と製造経費の削減を図り、市場における価格競争力を高めてまいります。

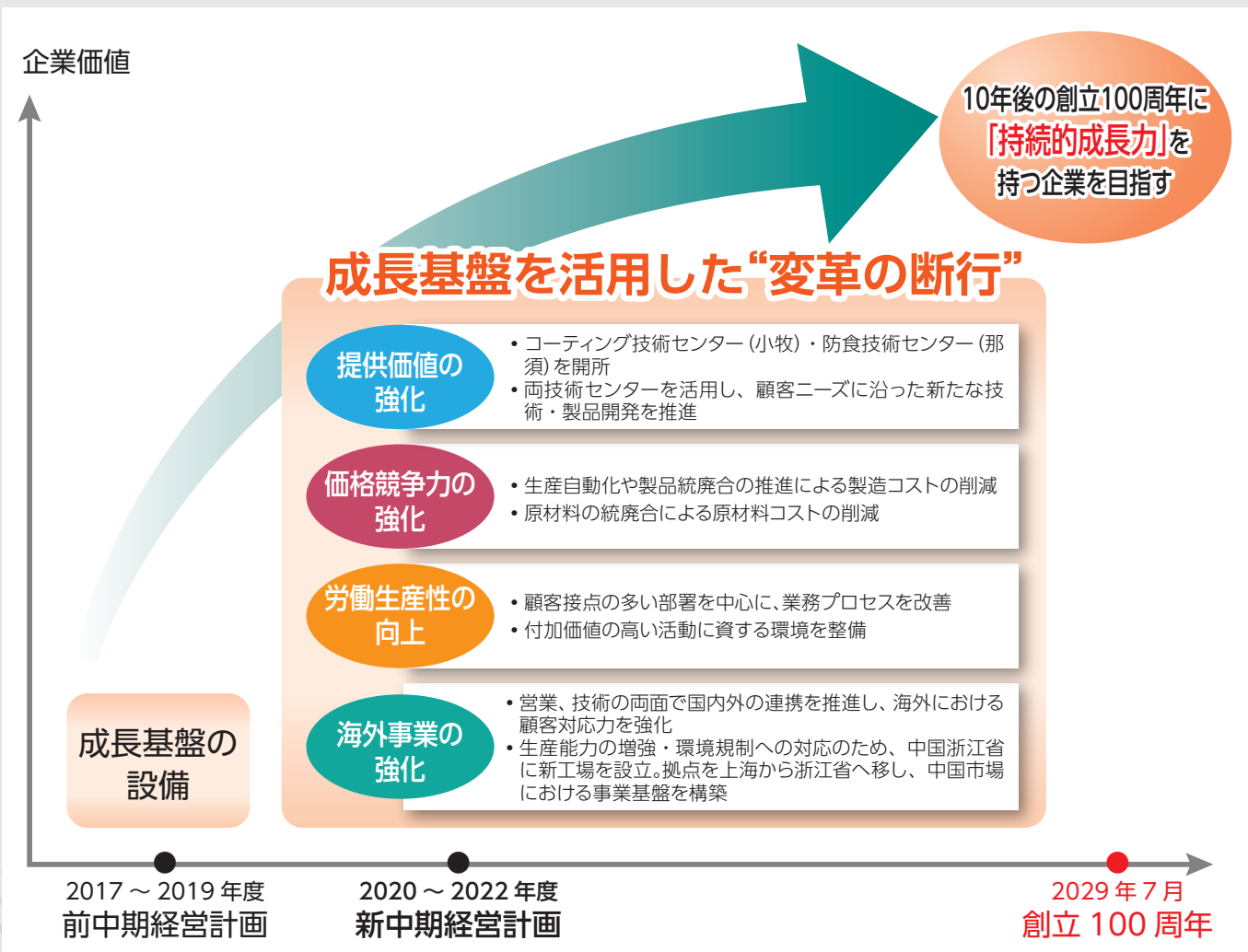
これらを含めた4つの重点課題に対する諸施策を着実に実行することで、当社が目指す「持続的成長力を持つ企業」たるべく、グループ一丸となって邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年6月

特集 新中期経営計画スタート

今年度よりスタートする新中期経営計画(2020年度～2022年度)では、持続的成長のための“変革の断行”をテーマとしています。前中期経営計画(2017年度～2019年度)で整備した成長基盤を活用し、次の4つの重点施策に取り組んでまいります。創立100周年に向けて、「持続的成長力」を持つ企業を目指してまいります。



Topics

抗菌・抗ウイルス 室内用水性塗料

「COZY PACK Air」を新発売



新型コロナウイルスの感染拡大を受け、飲食店や商業施設、学校や病院などの人が集まる施設において、従来以上に「クリーンな環境」への要求が強まっています。こうしたニーズに対応するため、超低臭の室内用水性塗料で定評のある「COZY PACK」に「抗菌・抗ウイルス」効果と「消臭」効果を加えた、「COZY PACK Air」を新たに発売しました。

■特徴

- ◎抗菌・抗ウイルス効果を備えたクリーンな塗料
蛍光灯・LEDの光によって光触媒効果を発揮し、菌やウイルスを短時間で不活性化する効果を有します。4～8時間程度の時間で、ノロウイルスや各種菌類を不活性化することが公的機関において確認されています。
※新型コロナウイルスへの効果は現時点では検証できません。
- ◎超低臭かつ消臭効果を有する
塗料自体に“におい”がほとんどないことに加え、光触媒効果によって塗装後は消臭効果と空気清浄効果も有します。
- ◎人と暮らしにやさしいゼロVOC水性塗料
ホルムアルデヒド・有機溶剤などの揮発性有機化合物(VOC)を配合していないので、人体や環境への悪影響が少なく、シックハウス対策としても有効です。

タイガー魔法瓶(株)のステンレスボトルにDNTデジタルコーティングシステムが採用

タイガー魔法瓶(株)のステンレスボトル「日本の伝統美」シリーズに、当社のDNTデジタルコーティングシステムが採用されました。インクと塗料を組み合わせた当社独自の技術により、凹凸のある立体的なデザインで手触りのよい質感を実現しています。



↑「日本の伝統美」シリーズ MUSUBI「組紐」や「水引」といった日本の「むすび」文化を表現

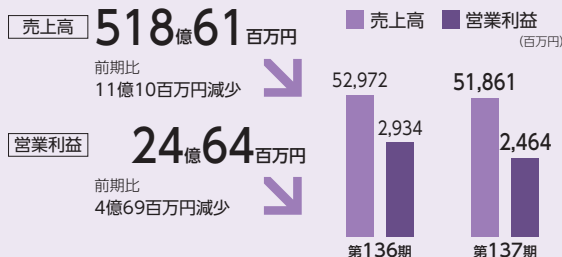
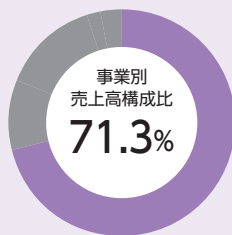
三菱鉛筆(株)の高級シャープペンシルに金属調塗料が採用

三菱鉛筆(株)のシャープペンシル「アドバンスアップグレードモデル」のレッドとオレンジ(数量限定)の2色に、金属調塗料「アクリタンMY-51」が採用されました。本塗料は自動車部品などに採用されており、軽量の樹脂素材に重厚な金属感を与えることで製品の高級感が得られます。



↑芯がとがり続けるシャープペンシル「アドバンス」の高級版

国内塗料事業

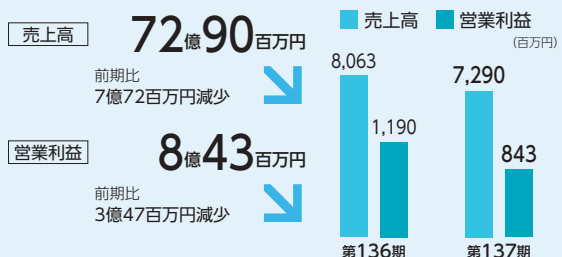


©Nacasa&Partners Inc.

東京・池袋西口公園の野外劇場「GLOBAL RING」鉄骨には、省工程で環境に優しく、超耐久性を有する重防食塗料「VフロンHBシステム」が採用されています。(写真提供：東京都豊島区)

- 構造物分野で市況が堅調に推移し、売上が増加しました。
- 建材分野では新設住宅着工戸数の減少の影響を受け、売上が前期を下回りました。
- 利益面では、一部の高付加価値品における顧客の減産に伴う販売の減少および本社移転に伴う費用の発生により、前期を下回りました。

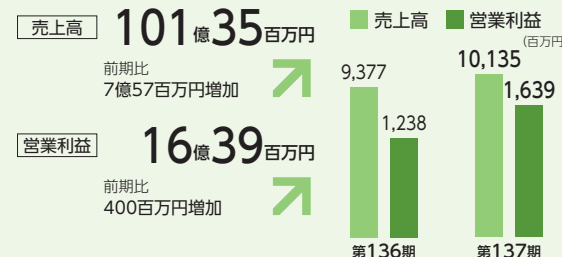
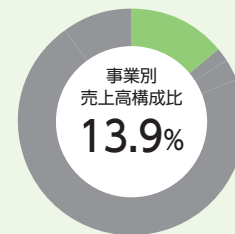
海外塗料事業



マレーシアにある火力発電所「Jimah East Power」ボイラーと周辺の鉄骨に、「ゼッタール」「エポオール」「Vトップ」が採用されています。

- 東南アジア市場で自動車部品の需要が減少し、売上、利益ともに前期を下回りました。
- 中国市場では、各種工業分野における需要が減少し、売上、利益ともに前期を下回りました。
- 北中米市場では、自動車部品の売上は前期並みとなりましたが、高付加価値品の販売が減少し、利益は前期を下回りました。

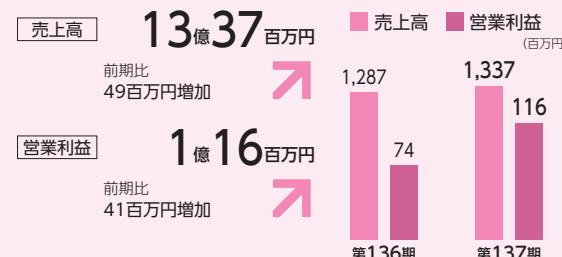
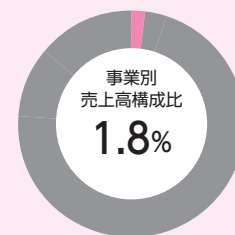
照明機器事業



DNライティング(株)は「照明実験空間 lab E135」を大阪の江坂に開設。什器・棚下照明、間接照明を簡易的に再現し、「色温度・配光・明るさ」、「設置位置・角度」をシミュレーションできる体感型の施設です。

- 業務用LED照明分野で宿泊施設や商業施設向けの間接照明需要が好調に推移し、売上が増加しました。
- 利益面では、売上増加に加え生産効率向上への取り組みが奏功し、前期を上回りました。

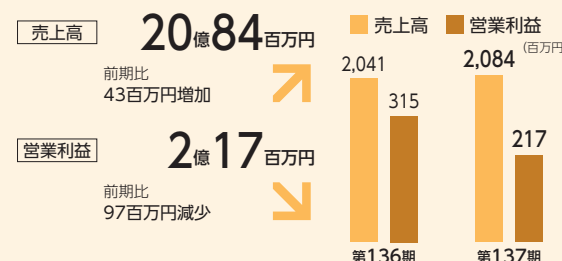
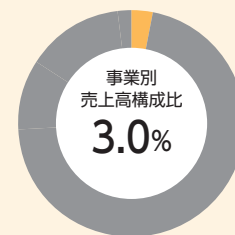
蛍光色材事業



飯川 雄大「デコレータークラブーピンクの猫の小林さん」展示風景「猫の小林さんとあそぼう!プロジェクト」、2020年 木材、蛍光塗料、930x1,000x80cm(HxWxD) 撮影:阪中 隆文

- 顔料分野で高付加価値品の販売が堅調に推移し、売上が増加しました。
- 利益面では、原材料価格の高騰に対し販売価格の適正化が伸展したことで、前期を上回りました。

その他事業(物流・塗装工事)



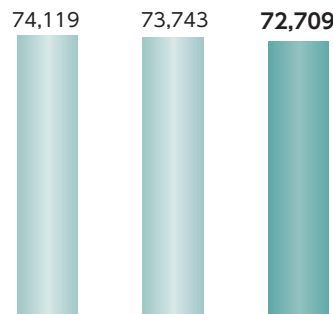
詳細はホームページに掲載されている
投資家情報をご覧ください。
<https://www.dnt.co.jp/ir/>



売上高 (百万円)

72,709百万円

前期比 1.4%減 ↓

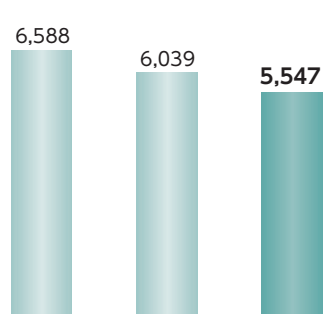


第135期 (2017年度) 第136期 (2018年度) 第137期 (2019年度)

営業利益 (百万円)

5,547百万円

前期比 8.1%減 ↓

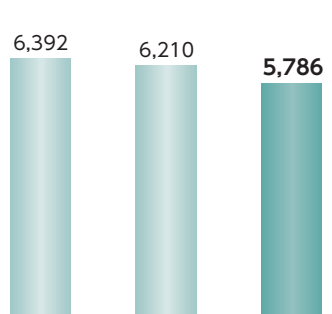


第135期 (2017年度) 第136期 (2018年度) 第137期 (2019年度)

経常利益 (百万円)

5,786百万円

前期比 6.8%減 ↓

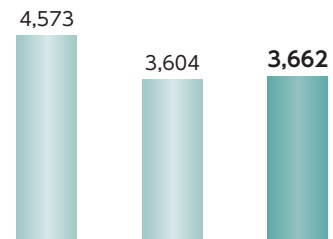


第135期 (2017年度) 第136期 (2018年度) 第137期 (2019年度)

親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)

3,662百万円

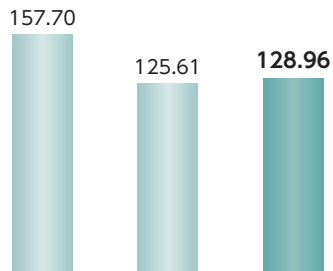
前期比 1.6%増 ↑



第135期 (2017年度) 第136期 (2018年度) 第137期 (2019年度)

1株当たり当期純利益 (円)

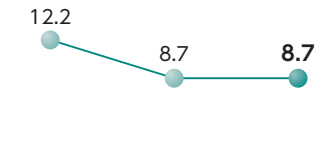
128.96円



第135期 (2017年度) 第136期 (2018年度) 第137期 (2019年度)

ROE(自己資本利益率) (%)

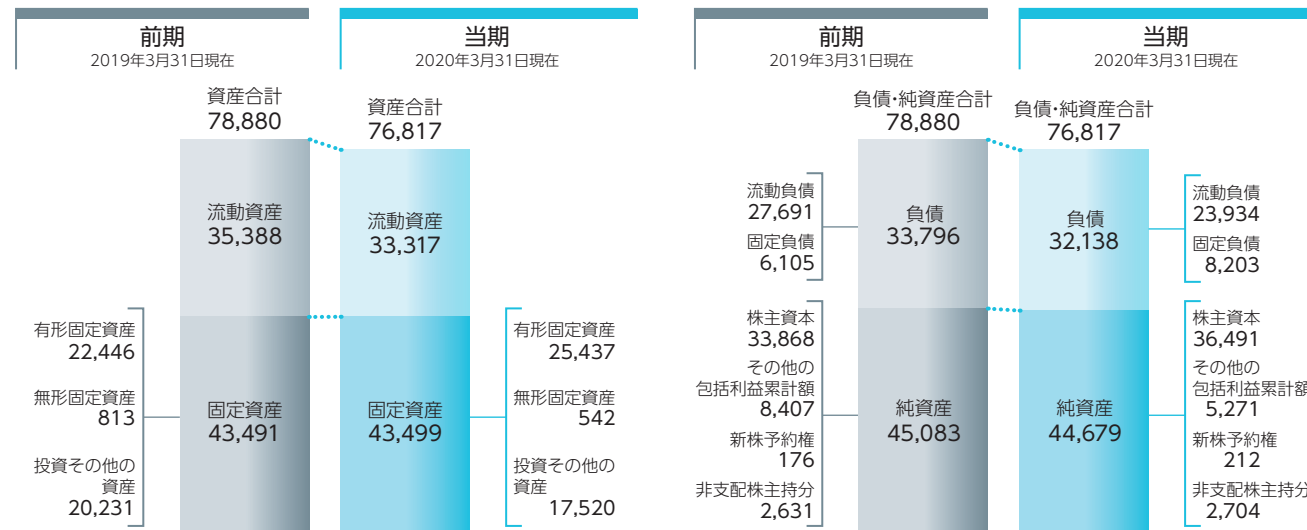
8.7%



第135期 (2017年度) 第136期 (2018年度) 第137期 (2019年度)

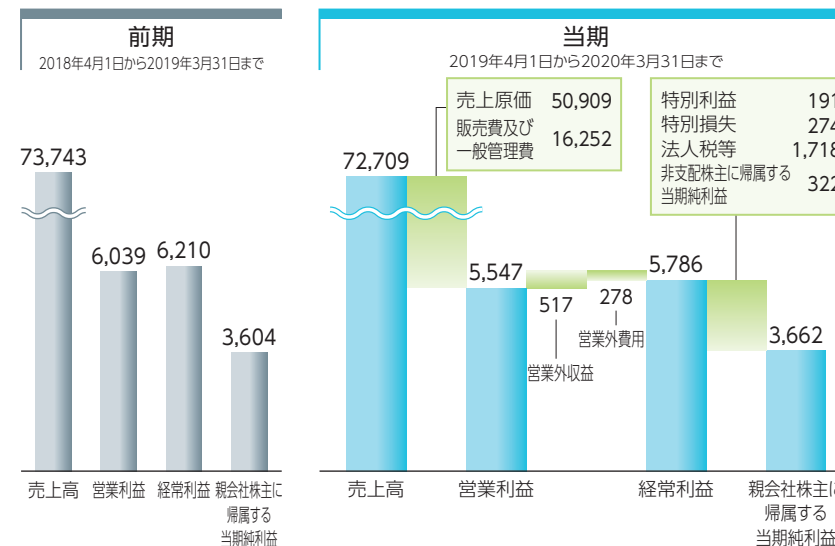
※第138期の連結業績予想については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況を注視しており、現段階では合理的な算出ができない状況のため未定といたします。今後、予想が可能となった時点において、速やかに業績見通しを開示いたします。

連結貸借対照表(要旨) (百万円)

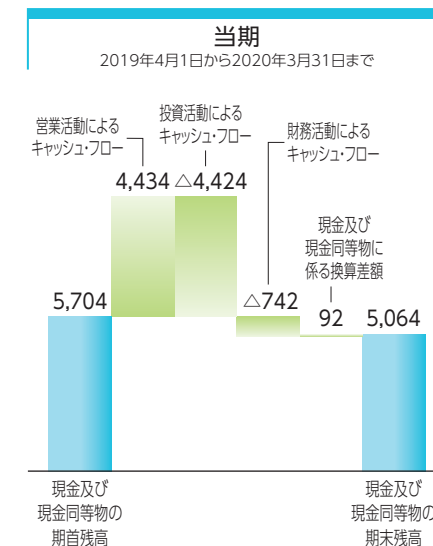


(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書(要旨) (百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書(要旨) (百万円)



(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

発行可能株式総数 93,280,000株
 発行済株式の総数 29,710,678株
 株主数 16,399名

● 大株主(上位10名)

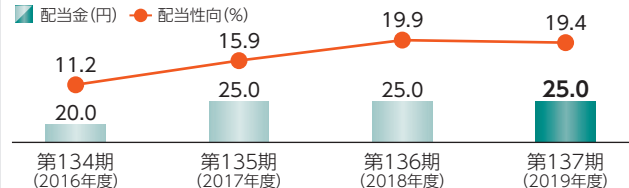
| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|---------------------------|---------|---------|
| 明治安田生命保険相互会社 | 1,400 | 4.9 |
| DNT取引関係持株会 | 1,233 | 4.3 |
| 株式会社三菱UFJ銀行 | 1,228 | 4.3 |
| 三菱商事株式会社 | 1,188 | 4.1 |
| 東京海上日動火災保険株式会社 | 1,013 | 3.5 |
| 富国生命保険相互会社 | 1,000 | 3.5 |
| 株式会社島津製作所 | 1,000 | 3.5 |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 878 | 3.1 |
| 田邊康秀 | 829 | 2.9 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 760 | 2.6 |

(注1) 自己株式(1,408,275株)を除いて記載しております。
 (注2) 持株比率は自己株式(1,408,275株)を控除して計算しております。

● 株主様への還元方針 ●

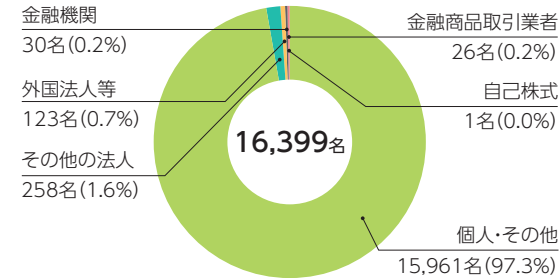
当社は、株主の皆様に対する配当額の決定を経営上の重要課題の一つとして位置づけ、企業体質の強化、財務内容の健全性維持に努めつつ、業績に応じた配当を安定的に継続実施することを基本方針としております。

配当金/配当性向の推移

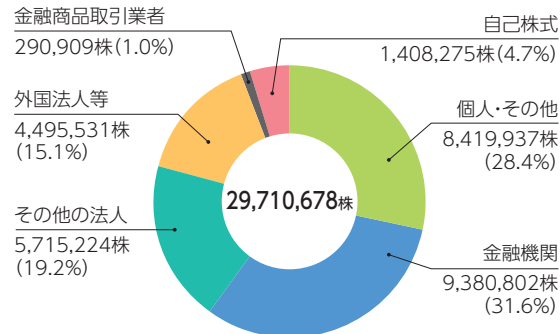


(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。第134期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、配当金と配当性向を算定しております。

● 所有者別株主分布状況



● 所有者別株式分布状況



株主優待のご案内

当社は、株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの方々に中長期的に当社株式を保有していただくことを目的として、株主優待制度を導入しております。

■ 対象となる株主様

毎年3月31日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式100株(1単元)以上を保有する株主様を対象といたします。

| 保有株式数 | 株主優待の内容 |
|-----------------|-----------------------|
| 100株以上 1,000株未満 | 当社オリジナルQUOカード 1,000円分 |
| 1,000株以上 | 当社オリジナルQUOカード 3,000円分 |

■ 贈呈時期

毎年6月下旬に発送させていただく予定です。

● 主な事業所/子会社及び関連会社

● 大日本塗料株式会社

本社(大阪)、東京営業本部(東京)
 那須事業所(栃木)、小牧事業所(愛知)
 東京、名古屋、大阪 他16営業所

● 子会社及び関連会社

国内塗料:

大日本塗料北海道(北海道)
 日塗化学(株)(東京)、千葉化工(株)(千葉)
 ジャパンパウダー塗料製造(株)(愛知)
 日東三和塗料(株)(滋賀)
 サンデーペイント(株)(大阪)
 DNTサービス(株)(大阪)、岡山化工(株)(岡山)
 DNT山陽ケミカル(株)(広島)
 (株)宇部塗料商会(山口)
 ビーオーケミカル(株)(福岡)

照明機器:

DNライティング(株)(神奈川)
 ニッポ電工(株)(秋田)

蛍光色材:

シンロイヒ(株)(神奈川)

その他:

日塗エンジニアリング(株)(神奈川)
 ニットサービス(株)(大阪)

● 海外塗料:



● 会社概要

| | |
|---------|--|
| 商号 | 大日本塗料株式会社 Dai Nippon Toryo Company, Limited |
| 本社 | 〒542-0081 大阪市中央区南船場1-18-11 |
| 設立 | 1929年(昭和4年)7月25日 |
| 資本金 | 8,827百万円 |
| 従業員数 | 2,195名(単体:702名) |
| 主要な事業内容 | 塗料・ジェットインクの製造、販売 各種塗装機器装置の販売、塗装工事等 |

● 役員 (2020年6月26日現在)

| | | | |
|-----------|--------|--------------|-------|
| 代表取締役社長 | 岩浅 壽二郎 | 取締役(社外取締役) | 灰崎 恭一 |
| 代表取締役社長 | 里 隆幸 | 取締役(社外取締役) | 向原 通隆 |
| 取締役常務執行役員 | 木村 直之 | 取締役(社外取締役) | 林 紀美代 |
| 取締役常務執行役員 | 永野 達彦 | 常勤監査役(社外監査役) | 福岡 靖之 |
| 取締役執行役員 | 野田 秀吉 | 常勤監査役 | 小林 正樹 |
| 取締役執行役員 | 山本 基弘 | 監査役(社外監査役) | 藤井 浩之 |